

## 「ヒト iPS 細胞由来軟骨組織の力学特性評価法の開発」について

### (1) この研究の目的と意義について

この研究は、CiRA の「再生医療用 iPS 細胞ストックプロジェクト」によって作製された iPS 細胞ストック株を用いて、治療に適した安全な iPS 細胞由来軟骨を製造する為、製造した軟骨の品質評価方法の一つとして軟骨のかたさを評価する技術を開発することです。

### (2) 研究の方法について

CiRA の「再生医療用 iPS 細胞ストックプロジェクト」によって作製された iPS 細胞ストック株を用い CiRA・妻木研究室で iPS 細胞由来軟骨を作製し同志社大学に送付します。

同志社大学では iPS 細胞由来軟骨の圧縮試験を行い、軟骨のかたさを評価する数値の算出を試みます。又、iPS 細胞由来軟骨を観察し軟骨内部の細胞分布とコラーゲンネットワーク構造の解析を行います。

研究期間 : 承認日～2020年3月31日

研究機関 : 京都大学 iPS 細胞研究所

研究責任者 : 臨床応用研究部門・教授・妻木範行

共同研究機関 : 同志社大学

共同研究機関の研究責任者 : 生命医科学部・教授・森田有亮

研究で利用する試料・情報等の項目	<試料>iPS 細胞 <情報>性別、年代、HLA 型、核型、感染症検査結果
試料・情報の利用目的及び利用方法	京都大学 iPS 細胞研究所において作製された再生医療などの細胞移植治療を行うのに適した iPS 細胞を、関節軟骨損傷の再生治療法の実用化のための研究に使用することです。
試料・情報を利用する者の範囲	共同研究機関
他機関へ提供する試料や情報等	<試料>iPS 細胞由来軟骨組織 <情報>性別、年代、HLA 型、核型、感染症検査結果
他機関へ提供する方法	<試料>試料の保存状態を維持するための専用容器に

	封入のうえ、追跡可能な輸送手段により提供先機関まで届けます。 <情報>印刷物は追跡可能な輸送手段で提供先機関に送付、電子データは適切な情報セキュリティを確保の上で提供先機関に送信します。
提供先における試料・情報の管理責任者	機関名：同志社大学 研究責任者：生命医科学部・教授・森田有亮

ご不明の点等ございましたら担当コーディネーターまでご連絡ください。

また、iPS 細胞ストックの提供等につきましては下記 URL に情報公開を行っておりますので、ご参照ください。

[https://www.cira.kyoto-u.ac.jp/j/research/img/stock/ips\\_stock\\_for\\_donor.pdf?1524188825378](https://www.cira.kyoto-u.ac.jp/j/research/img/stock/ips_stock_for_donor.pdf?1524188825378)

以上